2 この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり４本

購読のお申込みはこちら

2020年5月17日号　　編集／毎日新聞社販売局Ｄ.クリエーションセンター

ストーリー「二人三手のメロディー」

24日（日）＝1面・ストーリー面

脳性まひの岩崎花奈絵（かなえ）さん（27）＝東京都＝は、右手の人さし指だけでピアノを演奏します。母の準子さん（58）と連弾するスタイルで、世界中のコンサートに出演しています。手足を自由に動かすことはできませんが、ピアノの発表会でスポットライトを浴びる姉の姿に憧れ、小学１年生から習い始めました。就学や就労で苦労してきた２人の軌跡を追いました。

ベランダでも砂遊びを

23日（土）＝くらしナビ面

外出自粛や休校・休園が長引く中、砂場研究家、Ｃｏｄａｍａ（こだま）さん（38）＝京都府在住＝が、自宅のベランダでもできる砂遊びの方法を会員制交流サイト（ＳＮＳ）上で発信しています。理想的な砂場のあり方を研究し、幼稚園や公園の砂場づくりのアドバイスもしているＣｏｄａｍａさん。「子どもによって砂場はキッチンになったり、お城になったり……。創造力を高める遊具なんです」と魅力を語ります。

高齢者　在宅続き虚弱状態も

20日（水）＝くらしナビ面

新型コロナウイルスの感染を防ぐため外出を控えていると、筋肉が衰えて体力が低下する危険性があります。特に高齢者は、虚弱状態（フレイル）が進むと要介護状態につながる恐れがあるため、注意しなければなりません。シリーズ「感染症と闘う」の新型コロナ編７回目では、自粛生活が長引いても高齢者が健康に過ごせる工夫などを紹介していきます。

マスクなぜ必要？

20日（水）＝夕刊特集ワイド

新型コロナウイルスに感染すると、発熱やせきなどの症状が表れる前から大量ともいえるウイルスが体外に排出されることがある、ということが分かってきました。いつ、どこで人にうつしたり、うつされたりするかは見当がつかず、対面で会話をする時などはマスクの着用が欠かせなくなっています。マスクの安定供給に不透明感がつきまとう中、周囲の人や自分の身を守るにはどうすればいいか、取材しました。

竹橋の窓辺から　編集後記

今、世間の関心はコロナ一色ですが、季節の移ろいは例年と変わりなく、初夏から梅雨、真夏へと変わります。これから自然災害への備えも必要です。昨年の台風は各地に大きな被害をもたらしました。もし台風とコロナの第２波、第３波が重なったら…と考えるだけでゾッとしますが、その時自分自身はどうするか、頭の片隅に置くだけでも個の危機管理の一歩だと思います。今年ぐらい自然災害も自粛してよと言いたいですが。（渡部竜之介）

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。